



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **06250628 A**(43) Date of publication of application: **09 . 09 . 94**

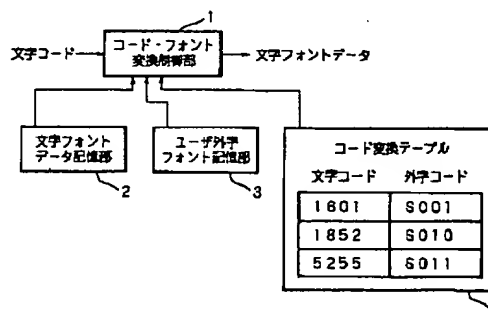
(51) Int. Cl.

G09G 5/22**G06F 3/023****H03M 11/14****G06F 15/20**(21) Application number: **05033730**(71) Applicant: **SANYO ELECTRIC CO LTD**(22) Date of filing: **23 . 02 . 93**(72) Inventor: **ITO TSURUMI****(54) DOCUMENT PROCESSOR****(57) Abstract:**

PURPOSE: To replace a font which is characteristic to the processor with a font registered by a user and output it by a normal character call.

CONSTITUTION: The font which is characteristic to the processor is stored in a character font data storage part 2 corresponding to character codes, the external character font which is registered by the user is stored in a user external character font storage part 3 corresponding to external character codes, and the character codes and external character codes are stored in a code conversion table 4 while made to correspond to each other; and a code and font conversion control part 1 converts a called character into its character code, retrieves whether or not the converted character code is present in the code conversion table 4, and outputs the font characteristic to the processor as character font data when the character code is absent or the corresponding external character font when present.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio



[ABSTRACT]

[OBJECT] The present invention is to replace font inherent to a device with font registered by a user to output it by normal character calling.

[STRUCTURE] Font inherent to a device is stored in a font data storage portion 2 so as to correspond to character code, external font which has been registered by a user is stored in a user external font storage portion 3 so as to correspond to external code, and the character code and the external code are stored in code conversion table 4 so as to correspond to each other. A code-font conversion control portion 1 converts a called character to a character code, and it retrieve whether or not the converted character code exists in the code conversion table 4. If the converted character code does not exist, font inherent to a device is output as character font data and if it exists, external font corresponding thereto is output as the character font data.

[0009]

[Embodiment] An embodiment of the present invention will be explained below with reference to the drawings. FIG. 1 is a block diagram showing a configuration of a word processor (hereinafter, referred to as a present invention device). In FIG. 1, reference numeral 1 denotes a code-font conversion control portion which determines whether a called character is output in a form of a character font inherent to a device

or it is output in a form of a character font of an external character which has been registered by a user. Font data inherent to a device is stored in a character font data storage portion 2 so as to correspond to character code and external font which has been registered by a user is stored in a user external font storage portion 3 so as to correspond to external code comprising code rather than the code which has been attached to the font data inherent to the device. Furthermore, all or a portion of character codes of font inherent to the device is stored on the left column of a code conversion table 4 and corresponding external codes are stored on the right column thereof.

[0010] Procedure of user registered external font output according to the present invention device configured in the above manner will be explained with reference to a flowchart shown in FIG. 2. When a character is called, the character is converted to a character code of a font inherent to a device and a determination is made about whether or not the converted character code exists on the left column of the code conversion table 4 (S1). When the converted character code does not exist on the left column, corresponding character font data inherent to the device is read out from the character font data storage portion 2 (S2), and the called character is output to a printer or display device with the font inherent to the device.

[0011] Meanwhile, when the character code exists on the left column of the code conversion table 4, corresponding external code is read out from the right column (S3), and

corresponding external font data is read from the user external font storage portion 3 on the basis of the external code (S4), so that the called character is output with the user registered external font.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-250628

(43)公開日 平成6年(1994)9月9日

(51)IntCl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 9 G 5/22

8121-5G

G 0 6 F 3/023

H 0 3 M 11/14

G 0 6 F 15/20

5 6 2 P 7315-5L

7165-5B

G 0 6 F 3/ 023

3 2 0 A

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平5-33730

(22)出願日

平成5年(1993)2月23日

(71)出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72)発明者 伊藤 鶴美

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋
電機株式会社内

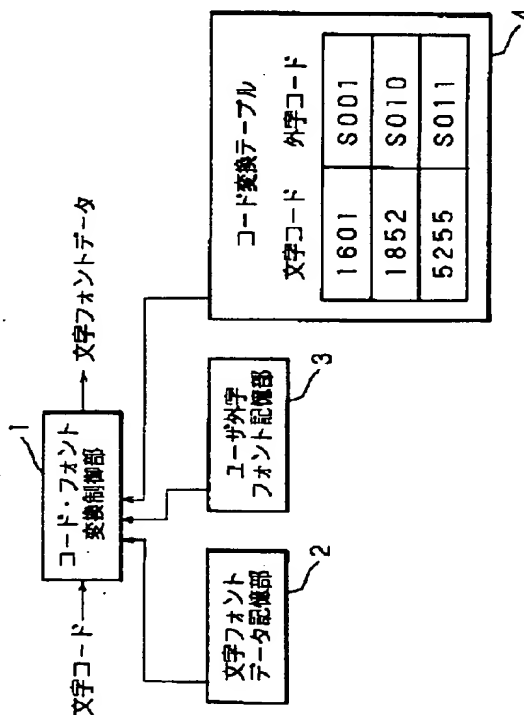
(74)代理人 弁理士 河野 登夫

(54)【発明の名称】 文書処理装置

(57)【要約】

【目的】 通常の文字呼び出しにより、装置固有のフォントをユーザ登録されたフォントに差し替えて出力する。

【構成】 装置固有のフォントを文字コードに対応付けて文字フォントデータ記憶部2に、ユーザ登録された外字フォントを外字コードに対応付けてユーザ外字フォント記憶部3に、さらに文字コードと外字コードとを対応付けてコード変換テーブル4に記憶しておき、コード・フォント変換制御部1は呼び出された文字を文字コードに変換し、変換した文字コードがコード変換テーブル4に存在するか否かを検索して存在しない場合は装置固有のフォントを、存在する場合は対応する外字フォントを文字フォントデータとして出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 呼び出された文字をコードに変換し、該コードを付されたフォントで該文字を出力する文書処理装置において、装置固有のフォントをコードに対応付けて記憶する第1の記憶部と、ユーザの登録フォントを該登録フォントに付されたコードに対応付けて記憶する第2の記憶部と、ユーザの登録フォントのコードと該登録フォントで出力すべき文字に付された装置固有のフォントのコードとを対応付けて記憶するコード変換テーブルと、呼び出された文字のコードがコード変換テーブルに存在する場合、呼び出された文字を対応する登録フォントで出力する手段とを備えたことを特徴とする文書処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、装置固有のフォントをユーザの登録フォントに差し替える機能を有する文書処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の文書処理装置は、JIS漢字水準に含まれる漢字、平仮名、片仮名、英字、数字、記号等の装置固有のフォントを記憶した漢字ROMを装備しており、各フォントにはコードが付されている。装置固有のフォントは前述の漢字ROM、ユーザがアクセス不可能なファイル等に予め記憶されており、ユーザが自由にフォントを変更することはできない。

【0003】 また、多くの文書処理装置は、ユーザ外字としてユーザが自由にフォントを登録できる機能を備えており、ユーザ外字には、装置固有のフォントに付されたコード以外のコードが付される。従って、ユーザ外字は、(1) 外字コードで呼び出す、(2) 外字を呼び出すための見出し語を入力し、外字候補の中から選択する、(3) 外字を含んだ単語に見出し語を付してあらかじめ辞書に登録しておき、この見出し語で外字を含んだ単語を呼び出す、等の方法で呼び出している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 以上のように、従来の文書処理装置では、ユーザのアクセスが不可能なROM、ファイル等にフォントが予め記憶されているので、通常の文字呼び出しによって装置固有のフォント以外のフォントに差し替えて文字を出力することができず、また、外字登録された外字フォントで文字を出力する場合には、前述のように、通常の文字呼び出しとは別の方法を用いて外字を呼び出す必要があるので、外字フォントでの出力が煩雑である。

【0005】 さらに、印字の時点で文書全体の出力を明朝体、ゴシック体などに指定することはできるが、数字だけのように、一部のフォントをユーザ登録の外字フォントに差し替えたい場合は各字に対して前述の外字呼び出しを行わなければならなかった。

【0006】 本発明はこのような問題点を解決するためになされたものであって、通常の文字呼び出しによって、この文字を装置固有のフォント以外のユーザの登録フォントで出力する文書処理装置の提供を目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明に係る文書処理装置は、呼び出された文字をコードに変換し、該コードを付されたフォントで該文字を出力する文書処理装置において、装置固有のフォントをコードに対応付けて記憶する第1の記憶部と、ユーザの登録フォントを該登録フォントに付されたコードに対応付けて記憶する第2の記憶部と、ユーザの登録フォントのコードと該登録フォントで出力すべき文字に付された装置固有のフォントのコードとを対応付けて記憶するコード変換テーブルと、呼び出された文字のコードがコード変換テーブルに存在する場合、呼び出された文字を対応する登録フォントで出力する手段とを備えたことを特徴とする。

【0008】

【作用】 本発明に係る文書処理装置は、文字が呼び出されると、呼び出された文字を装置固有のフォントに付されたコードに変換して変換したコードがコード変換テーブルに存在するか否かを検索し、コード変換テーブルに存在しない場合は装置固有のフォントを出力する一方、変換したコードがコード変換テーブルに存在する場合は対応する登録フォントを出力する。

【0009】

【実施例】 以下、本発明をその実施例を示す図に基づいて説明する。図1は本発明に係る文書処理装置（以下、本発明装置という）の構成を示すブロック図である。図中、1は呼び出された文字を装置固有の文字フォントで出力するか、ユーザ登録された外字の文字フォントで出力するかを判定するコード・フォント変換制御部であって、文字フォントデータ記憶部2には装置固有のフォントデータが文字コードに対応付けて記憶され、ユーザ外字フォント記憶部3にはユーザ登録された外字フォントが、装置固有のフォントデータに付されたコード以外のコードからなる外字コードに対応付けて記憶されている。さらに、コード変換テーブル4には、左列に装置固有のフォントの文字コードの全部又は一部、右列に対応する外字コードが記憶されている。

【0010】 以上のような構成の本発明装置によるユーザ登録外字フォント出力の手順を図2に示すフローチャートに基づいて説明する。文字が呼び出されると、この文字を装置固有のフォントの文字コードに変換し、変換した文字コードがコード変換テーブル4の左列に存在するか否かを判定する(S1)。文字コードが左列に存在しない場合は文字フォントデータ記憶部2から対応する装置固有の文字フォントデータを読み出し(S2)、呼び出された文字を装置固有のフォントで印字装置、表示装置等に出力する。

3

【0011】一方、文字コードがコード変換テーブル4の左列に存在する場合は、右列から対応する外字コードを読み出し(S3)、この外字コードに基づいてユーザ外字フォント記憶部3から対応する外字フォントデータを読み出し(S4)、呼び出された文字をユーザ登録の外字フォントで出力する。

【0012】

【発明の効果】以上のように、本発明装置は、通常の文字の呼び出しによって、装置があらかじめ用意している固有のフォントがユーザ登録された外字フォントに容易に差し替えられるので、外字フォントを特別な呼び出し方法で呼び出す必要がなくなって操作性が向上し、ま

4

た、例えば数字のみに限ってユーザ登録した外字フォントと差し替えて印字、表示等することができるといった優れた効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

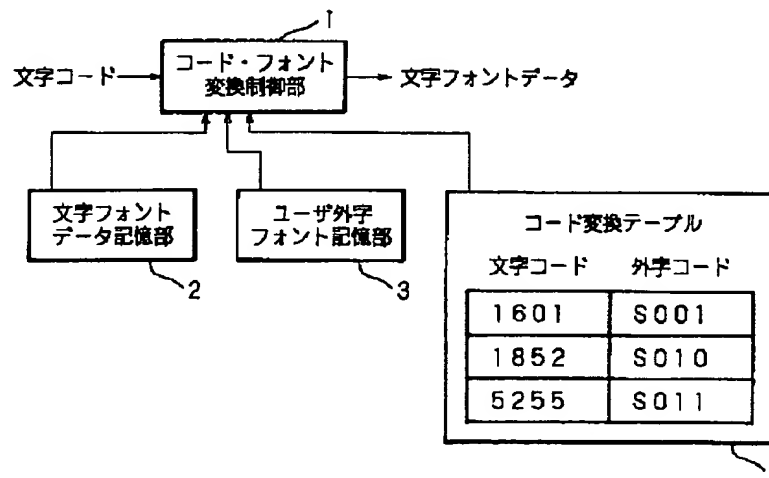
【図1】本発明装置のブロック図である。

【図2】本発明装置によるユーザ登録外字フォント出力の手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 コード・フォント変換制御部
- 2 文字フォントデータ記憶部
- 3 ユーザ外字フォント記憶部
- 4 コード変換テーブル

【図1】



【図2】

